

第3章 家庭や介護に関することからについて

1. 家庭内における性別役割分担の状況

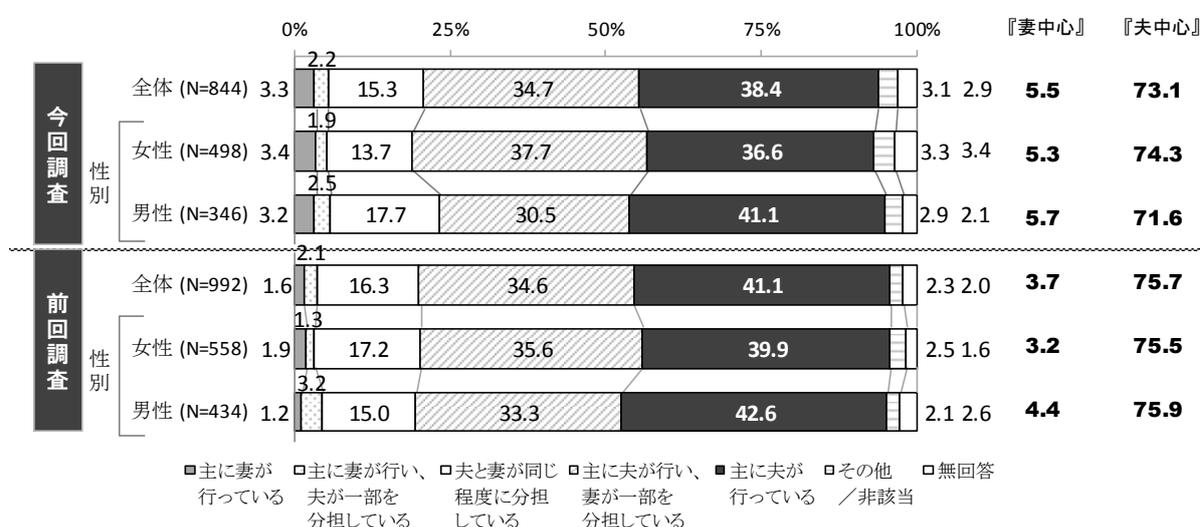
(1) 家庭内の役割分担の状況

【配偶者・パートナーと同居している方に】

問6. あなたのご家庭では、次にあげるような家庭内の仕事を、主にどなたがしていますか。(ア)から(ケ)のそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

(ア) 生活費を得る

図 「生活費を得る」の役割分担の状況[全体、性別](前回調査比較)



配偶者・パートナーと同居している人に対し、10種類の家庭内の仕事を、主に夫と妻のどちらが行っているかについてたずねた。

生活費を得ることについて、「主に夫が行っている」(38.4%)と「主に夫が行い、妻が一部を分担している」(34.7%)を合計した『夫中心』が73.1%で高い割合となっている。「夫と妻が同じ程度に分担している」は15.3%、「主に妻が行っている」(3.3%)と「主に妻が行い、夫が一部を分担している」(2.2%)を合計した『妻中心』は5.5%とわずかであり、生活費の主な稼ぎ手は男性という結果である。

前回調査と比較すると、男女とも『夫中心』の割合が減り、『妻中心』の割合がやや増えており、妻はより生活費を得る役割を担うようになっている。

年齢別にみると、女性の30～50歳代では「主に夫が行い、妻が一部を分担している」「夫と妻が同じ程度に分担している」が他の年代より高く、妻も生活費を得る役割をこの年代では夫とともに担っている。男性も30歳代で「夫と妻が同じ程度に分担している」が31.2%と最も高くなっている。

性別役割分担意識別では、性別役割分担に同感する程度が強いと「夫と妻が同じ程度に分担している」の割合が低くなり、「主に夫が行っている」の割合が高くなる傾向がみられる。

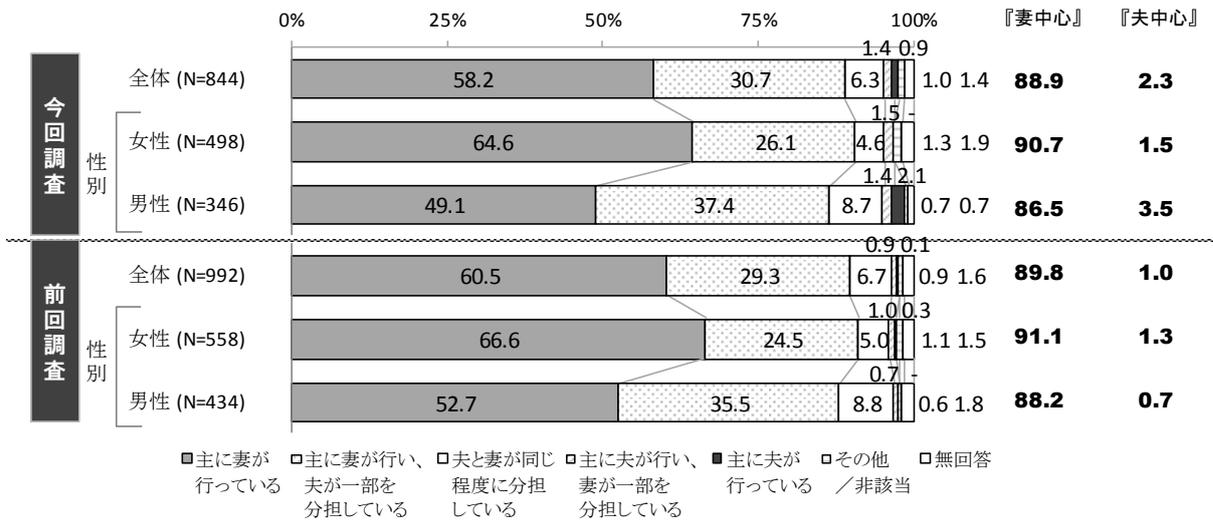
表 「生活費を得る」の役割分担の状況[全体、年齢別、性別役割分担意識別]

(%)

		合計	主に妻が行っている	主に妻が行い、夫が一部を分担している	主と妻が同じ程度に分担している	主に夫が行い、妻が一部を分担している	主に夫が行っている	その他／非該当	無回答	『妻中心』	『夫中心』	
全体		844 100.0	28 3.3	18 2.2	129 15.3	293 34.7	324 38.4	27 3.1	24 2.9	46 5.5	617 73.1	
年齢別	女性:20歳代	18	-	2.5	7.8	31.6	52.8	2.5	2.7	2.5	84.4	
	女性:30歳代	74	0.6	-	18.8	42.2	36.4	-	1.9	0.6	78.6	
	女性:40歳代	100	1.9	0.5	12.1	47.8	31.9	1.4	4.3	2.4	79.7	
	女性:50歳代	98	3.4	3.9	18.6	36.3	31.8	4.4	1.5	7.3	68.1	
	女性:60歳代	131	5.9	2.6	10.6	27.6	43.0	6.2	4.0	8.5	70.6	
	女性:70歳以上	75	4.6	0.6	11.7	40.5	34.8	2.6	5.2	5.2	75.3	
	男性:20歳代	2	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	100.0
	男性:30歳代	38	3.8	-	31.2	16.3	48.8	-	-	3.8	65.1	
	男性:40歳代	62	-	-	10.2	35.1	52.4	-	2.3	-	87.5	
	男性:50歳代	76	2.5	3.2	17.8	42.0	33.9	-	0.6	5.7	75.9	
男性:60歳代	107	5.0	2.3	20.3	20.7	45.1	3.6	3.2	7.3	65.8		
男性:70歳以上	59	4.1	6.5	11.3	36.5	27.6	10.7	3.3	10.6	64.1		
無回答	4	-	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	25.0	50.0		
分担意識別	女性:同感する	16	8.8	6.1	-	14.6	61.7	-	8.8	14.9	76.3	
	女性:ある程度同感する	190	2.5	1.8	10.2	43.9	36.8	3.5	1.3	4.3	80.7	
	女性:あまり同感しない	161	2.4	0.9	15.5	36.4	35.8	3.6	5.4	3.3	72.2	
	女性:同感しない	108	4.5	3.5	20.0	34.6	30.7	3.1	3.6	8.0	65.3	
	男性:同感する	24	8.1	6.0	10.0	12.0	58.0	6.0	-	14.1	70.0	
	男性:ある程度同感する	143	3.0	1.7	9.8	28.3	51.1	1.7	4.4	4.7	79.4	
	男性:あまり同感しない	102	0.9	3.8	22.3	39.8	30.3	2.4	0.5	4.7	70.1	
	男性:同感しない	67	5.7	1.4	27.1	30.0	29.3	5.8	0.7	7.1	59.3	
無回答	32	5.9	-	19.4	22.4	49.4	1.4	1.5	5.9	71.8		

(イ) 炊事、掃除、洗濯などの家事をする

図 「炊事、掃除、洗濯などの家事をする」の役割分担の状況[全体、性別] (前回調査比較)



炊事、掃除、洗濯などの家事をするについて「主に妻が行っている」(58.2%)と「主に妻が行い、夫が一部を分担している」(30.7%)を合計した『妻中心』が88.9%となっており、家事についてはほとんど妻が担っている。

性別にみると、女性で「主に妻が行っている」が64.6%であるのに対し、男性では49.1%と、女

性の方が15.5ポイント高く、一方、「主に妻が行い、夫が一部を分担している」では女性が26.1%、男性が37.4%で男性が11.3ポイント高い。男性は「少しは手伝っている」との認識があるのに対して、女性はそう思っておらず、男性の方が家事参画度は高いと自己評価する傾向がうかがえる。

前回調査と比較すると、「主に妻が行っている」は男女ともやや減少し、「主に妻が行い、夫が一部を分担している」などの割合がやや増加している。

年齢別にみると、50歳代と60歳代では女性は「主に妻が行っている」が7割台と高く、男性は「主に妻が行い、夫が一部を分担している」が他の年代より高く、この年代で妻は自分が中心、夫は自分も手伝っているという認識のずれが大きくなっている。30歳代では、男女とも「夫と妻が同じ程度に分担している」が他の年代より高いが、前項でみた妻の生活費を得る役割ほどは高くなく、子育て世代では性別役割分担がやや解消される傾向にあるものの、女性の家事も仕事もという二重負担の状況がうかがえる。

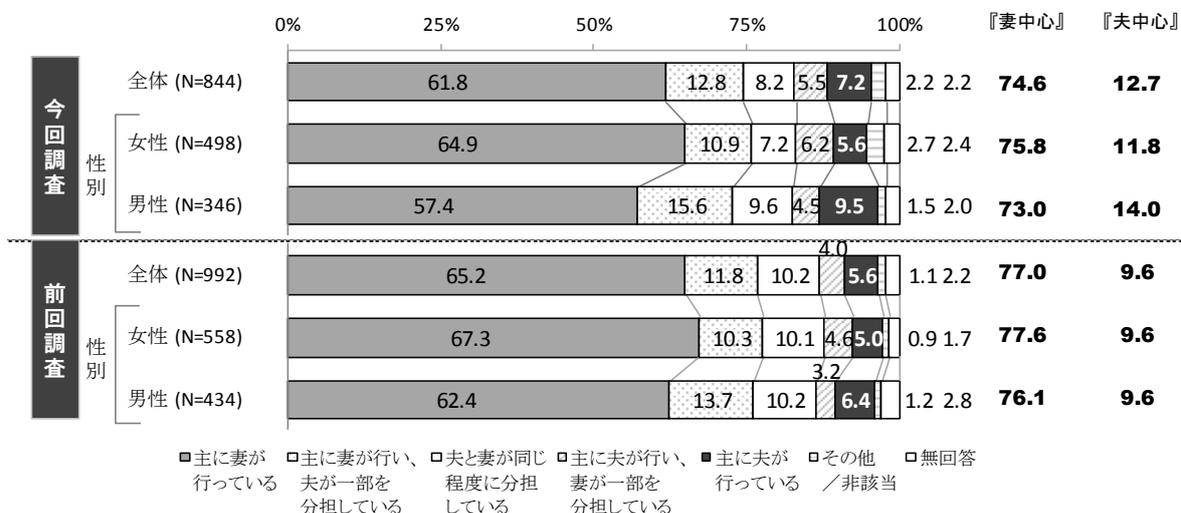
表 「炊事、掃除、洗濯などの家事をする」の役割分担の状況[全体、年齢別]

(%)

	合計	主に妻が行っている	主に妻が行い、夫が一部を分担している	夫と妻が同じ程度に分担している	主に妻が行い、夫が一部を分担している	主に夫が行っている	その他／非該当	無回答	『妻中心』	『夫中心』
全体	844	491	259	53	12	7	9	12	750	19
	100.0	58.2	30.7	6.3	1.4	0.9	1.0	1.4	88.9	2.3
年齢別	女性:20歳代	18	52.7	39.4	5.2	-	-	2.7	92.1	-
	女性:30歳代	74	52.6	33.8	11.1	-	-	1.9	86.4	-
	女性:40歳代	100	59.4	28.5	4.3	2.9	-	2.9	87.9	2.9
	女性:50歳代	98	72.1	23.5	0.9	1.5	-	2.0	95.6	1.5
	女性:60歳代	131	74.7	19.8	2.2	-	-	3.3	94.5	-
	女性:70歳以上	75	59.4	25.8	7.7	3.9	-	2.6	85.2	3.9
	男性:20歳代	2	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-
	男性:30歳代	38	35.0	46.2	15.0	-	3.8	-	81.2	3.8
	男性:40歳代	62	62.5	29.8	4.7	-	-	0.8	92.3	-
	男性:50歳代	76	49.7	38.2	7.7	3.8	0.6	-	87.9	4.4
	男性:60歳代	107	50.0	36.4	7.2	0.5	3.6	1.8	86.4	4.1
	男性:70歳以上	59	43.1	39.7	11.4	2.4	2.4	-	82.8	4.8
無回答	4	50.0	25.0	25.0	-	-	-	75.0	-	

(ウ) 日々の家計を管理する

図 「日々の家計を管理する」の役割分担の状況[全体、性別](前回調査比較)



日々の家計を管理するについては「主に妻が行っている」が61.8%と高く、「主に妻が行い、夫

が一部を分担している」(12.8%)を合計すると74.6%となり全体の4分の3を占めている。「炊事、掃除、洗濯などの家事をする」に次いで『妻中心』であることが確認できる。生活費を得るのは夫の役割とされるのに対し、実際に家計を維持するための日常的な金銭のやりくりは、妻の役割となっている。

性別にみると、「主に妻が行っている」が女性で64.9%、男性で57.4%と女性の方が7.5ポイント高くなっている。

前回調査と比較すると、あまり大きな変化はないが、男女とも「主に妻が行っている」がやや減少し、『夫中心』がやや増加しており、前項の家事同様に夫の役割分担が進んでいる。

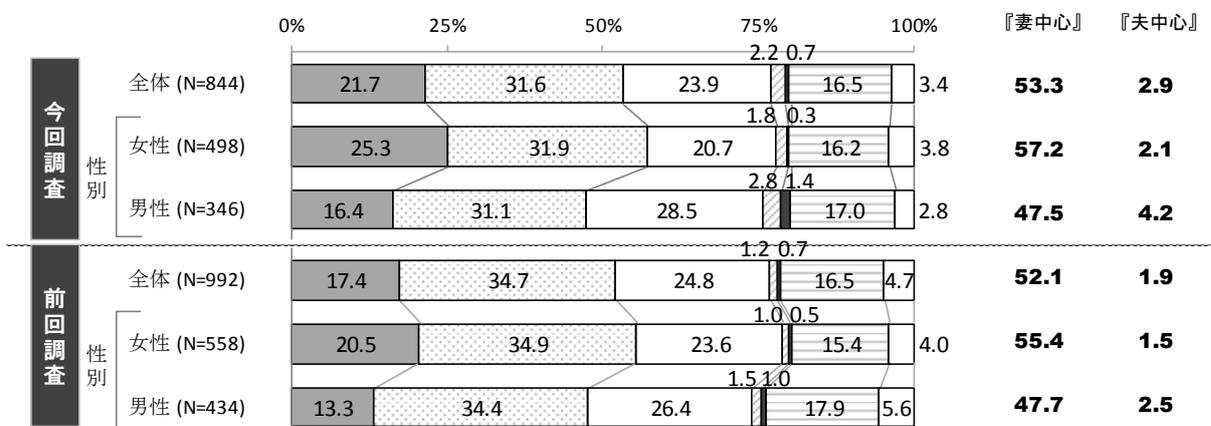
年齢別にみると、女性は50歳代以上の『妻中心』が高く、年齢の低い層では「夫と妻が同じ程度に分担している」が高い。20歳代の女性では「主に夫が行い、妻が一部を分担している」が18.3%と他の年代に比べて高い。男性では、年代による顕著な違いはない。

表 「日々の家計を管理する」の役割分担の状況[全体、年齢別]

		合計	主に妻が行っている	主に妻が行っているが一部を分擔している	夫と妻が同じ程度に分擔している	主に夫が行っているが一部を分擔している	主に夫が行っている	その他／非該当	無回答	『妻中心』	『夫中心』
全体		844	522	108	69	46	61	19	19	630	107
		100.0	61.8	12.8	8.2	5.5	7.2	2.2	2.2	74.6	12.7
年齢別	女性:20歳代	18	52.5	7.9	13.1	18.3	-	5.5	2.7	60.4	18.3
	女性:30歳代	74	65.0	9.7	12.3	0.6	7.8	2.6	1.9	74.7	8.4
	女性:40歳代	100	58.5	8.7	13.0	7.2	4.4	4.8	3.4	67.2	11.6
	女性:50歳代	98	65.3	15.1	4.4	7.8	6.9	0.5	-	80.4	14.7
	女性:60歳代	131	68.8	10.6	3.3	5.2	5.9	2.9	3.3	79.4	11.1
	女性:70歳以上	75	68.5	10.9	3.9	7.1	4.5	2.0	3.2	79.4	11.6
	男性:20歳代	2	25.0	75.0	-	-	-	-	-	100.0	-
	男性:30歳代	38	51.3	18.7	13.7	7.5	8.8	-	-	70.0	16.3
	男性:40歳代	62	64.9	6.2	8.6	6.3	9.3	2.4	2.3	71.1	15.6
	男性:50歳代	76	56.0	16.6	16.6	5.1	5.7	-	-	72.6	10.8
	男性:60歳代	107	60.4	14.8	7.2	2.3	13.1	1.8	0.5	75.2	15.4
	男性:70歳以上	59	51.2	21.9	4.1	4.1	7.3	3.3	8.1	73.1	11.4
無回答		4	75.0	-	-	-	25.0	-	-	75.0	25.0

(エ) 育児、子どものしつけをする

図 「育児、子どものしつけをする」の役割分担の状況[全体、性別] (前回調査比較)



□主に妻が 行っている □主に妻が行い、 夫が一部を 分擔している □夫と妻が同じ 程度に分擔 している □主に夫が行い、 妻が一部を 分擔している □主に夫が 行っている □その他 □無回答 /非該当

育児、子どものしつけをするについては、「主に妻が行っている」が21.7%、「主に妻が行い、夫

が一部を分担している」が31.6%で『妻中心』が53.3%と5割台となっている。「夫と妻が同じ程度に分担している」は23.9%で、家事や家計管理よりも高くなっている。

性別にみると、「主に妻が行っている」は女性が25.3%と、男性（16.4%）よりも8.9ポイント高い。一方、「夫と妻が同じ程度に分担している」は女性が20.7%で男性（28.5%）よりも7.8ポイント低く、男性は子育てを分担している、女性は自分中心と子育ての分担についての認識に差がみられる。

前回調査と比較すると、男女とも「主に妻が行っている」の割合が約3～5ポイント増えている。

年齢別にみると、「夫と妻が同じ程度に分担している」は女性の30歳代から50歳代で2割台と他の年代より高く、男性も40歳代、50歳代で高く、子どもに関わる年代では、夫も育児、子どものしつけをある程度担っている状況がうかがえる。しかし、30歳代、40歳代の女性では、「主に妻が行い、夫が一部を分担している」の割合も4割台と他の年代よりも高くなっており、子育て期の女性は、育児、子どものしつけについて夫は一部しか担っていないという認識が高くなっている。

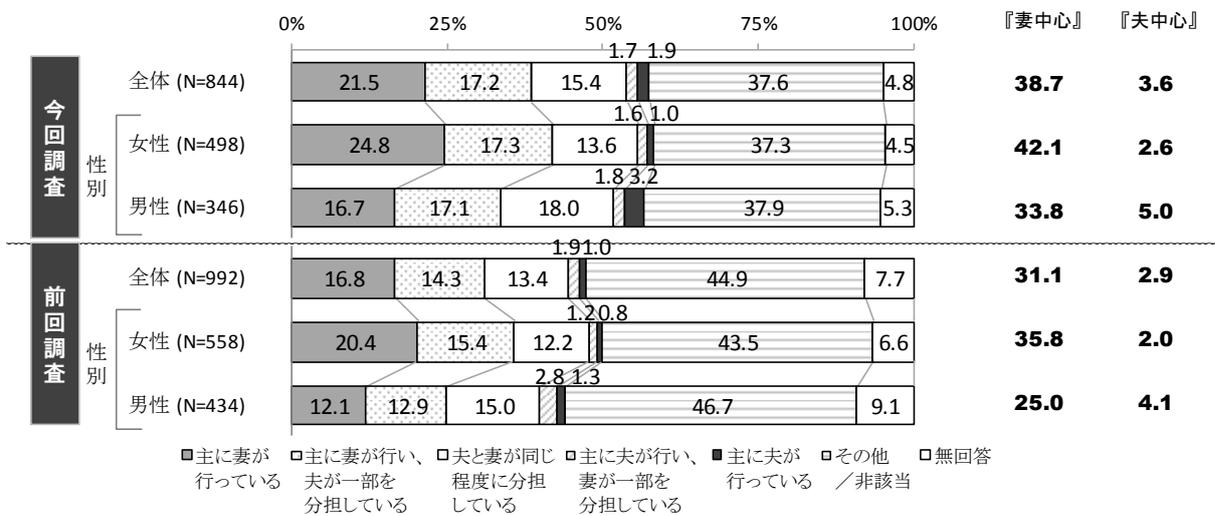
表「育児、子どものしつけをする」の役割分担の状況[全体、年齢別]

(%)

	合計	主に妻が行っている	夫と妻が同じ程度に分担している	主に妻が行っている	夫と妻が同じ程度に分担している	主に妻が行っている	その他／非該当	無回答	『妻中心』	『夫中心』	
全体	844 100.0	183 21.7	266 31.6	202 23.9	19 2.2	6 0.7	140 16.5	28 3.4	449 53.3	25 2.9	
年齢別	女性:20歳代	18	29.1	23.6	15.7	7.9	-	21.0	2.7	52.7	7.9
	女性:30歳代	74	15.0	43.5	24.0	-	-	15.6	1.9	58.5	-
	女性:40歳代	100	22.7	41.5	20.3	1.4	-	11.1	2.9	64.2	1.4
	女性:50歳代	98	32.4	28.0	22.5	2.4	-	13.7	0.9	60.4	2.4
	女性:60歳代	131	27.5	29.8	16.6	1.8	1.1	16.2	7.0	57.3	2.9
	女性:70歳以上	75	25.2	19.4	23.2	1.9	-	25.1	5.2	44.6	1.9
	男性:20歳代	2	-	25.0	-	-	-	75.0	-	25.0	-
	男性:30歳代	38	14.9	35.1	25.0	3.8	3.8	17.5	-	50.0	7.6
	男性:40歳代	62	18.0	37.6	31.2	2.3	-	8.6	2.3	55.6	2.3
	男性:50歳代	76	17.9	32.5	34.4	2.5	-	12.7	-	50.4	2.5
	男性:60歳代	107	14.0	31.1	29.3	4.1	-	19.3	2.3	45.1	4.1
	男性:70歳以上	59	19.5	21.1	17.8	0.8	5.7	25.3	9.8	40.6	6.5
無回答	4	-	-	75.0	-	-	25.0	-	-	-	

(オ) 親などの世話（介護）をする

図 「親などの世話（介護）をする」の役割分担の状況[全体、性別]（前回調査比較）



親などの世話（介護）をするについて、「その他／非該当」が37.6%と最も高く、現状では必要のない家庭が4割近くを占めている。必要がある家庭の役割は、「主に妻が行っている」が21.5%、「主に妻が行い、夫が一部を分担している」が17.2%で『妻中心』が38.7%であるのに対して、『夫中心』は3.6%と低い。「夫と妻が同じ程度に分担している」は15.4%で、親などの世話や介護は妻の仕事とされる傾向がみられる。

性別にみると、「主に妻が行っている」は、女性では24.8%、男性では16.7%と8.1ポイントの差がみられ、男性は女性が思っているほど、妻が主に親などの世話（介護）を担っていると認識していないことがわかる。

前回調査と比較すると、男女とも「その他／非該当」が約6～9ポイント減少し、親などの世話（介護）が必要な世帯が増えている。しかし、役割については『妻中心』の割合が、女性は6.3ポイント、男性は8.8ポイント増加し、『夫中心』にはあまり変化はみられないことから、親などの世話は妻が主に担う傾向がやや強くなっているようである。

年齢別にみると、男女とも年齢が高い層で『妻中心』の割合が高く、特に女性は60歳代以上では5割を超え、そのうち「主に妻が行っている」が3割以上を占めている。「夫と妻が同じ程度に分担している」は男女とも30歳代から50歳代で割合が高いものの、50歳代では女性16.7%、男性は28.0%と男性の方が介護を分担しているという認識が高い。

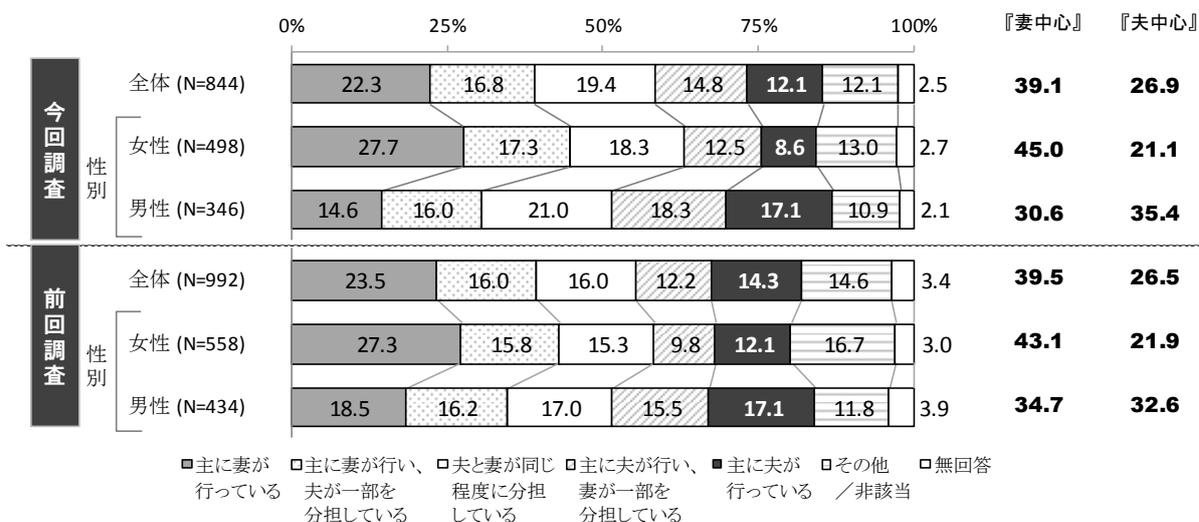
表 「親などの世話(介護)をする」の役割分担の状況[全体、年齢別]

(%)

		合計	主に妻が行っている	主に妻が行っている、夫が一部を分担している	夫と妻が同じ程度に分担している	主に夫が行っている、妻が一部を分担している	主に夫が行っている	その他／非該当	無回答	『妻中心』	『夫中心』	
全体		844 100.0	181 21.5	145 17.2	130 15.4	14 1.7	16 1.9	317 37.6	41 4.8	326 38.7	30 3.6	
年齢別	女性:20歳代	18	7.9	-	7.9	7.9	2.5	71.0	2.7	7.9	10.4	
	女性:30歳代	74	9.7	5.8	23.4	3.9	-	54.5	2.6	15.5	3.9	
	女性:40歳代	100	17.4	17.4	19.3	-	4.3	37.7	3.9	34.8	4.3	
	女性:50歳代	98	25.5	20.6	16.7	1.5	-	34.3	1.5	46.1	1.5	
	女性:60歳代	131	33.1	21.7	5.5	1.8	-	31.2	6.6	54.8	1.8	
	女性:70歳以上	75	37.5	21.2	7.8	-	-	25.7	7.7	58.7	-	
	男性:20歳代	2	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	男性:30歳代	38	1.3	3.7	20.0	-	-	63.8	3.8	5.0	7.5	
	男性:40歳代	62	17.9	2.3	21.1	-	-	53.2	2.3	20.2	3.1	
	男性:50歳代	76	14.7	28.0	28.0	6.4	1.9	21.0	-	42.7	8.3	
	男性:60歳代	107	23.4	16.2	10.4	1.4	3.6	36.5	8.6	39.6	5.0	
	男性:70歳以上	59	17.0	28.4	13.8	-	1.6	28.5	10.6	45.4	1.6	
無回答		4	25.0	25.0	25.0	-	-	25.0	-	50.0	-	

(カ) 自治会・町内会などの地域活動を行う

図 「自治会・町内会などの地域活動を行う」の役割分担の状況[全体、性別](前回調査比較)



自治会・町内会などの地域活動を行うについて「主に妻が行っている」は22.3%、「主に妻が行い、夫が一部を分担している」は16.8%で、『妻中心』は39.1%と約4割を占めている。一方、「主に夫が行い、妻が一部を分担している」は14.8%、「主に夫が行っている」は12.1%で『夫中心』も26.9%と約3割を占めている。「夫と妻が同じ程度に分担している」(19.4%)は約2割となっているものの、地域活動については妻か夫のいずれかに偏る傾向がうかがえる。

性別にみると、女性は『妻中心』(女性45.0%、男性30.6%)の割合が男性より14.4ポイント高く、男性は『夫中心』(同21.1%、35.4%)の割合が女性より14.3ポイント高い。他の家庭内の仕事と同様、男女間の認識の差がみられるが、地域の活動には多様な活動があり、男女が実際に地域で行っている活動の内容が異なっていることから、このような差になったと考えられる。

前回調査と比較すると、女性ではあまり大きな変化はみられないが、男性は前回調査では『妻中心』の割合が『夫中心』をやや上回っていたが、今回調査では『妻中心』よりも『夫中心』の割合の方が4.8ポイント上回る結果となっている。家庭内の役割の中では地域活動はより男性は担い手となっている。

年齢別にみると、男女ともに20歳代では「その他／非該当」が高く、年齢の低い層ではそもそも地域活動に参加していない家庭が多いといえる。女性は50歳代までは年齢が高くなるほど『妻中心』が高くなるが、60歳代以降は低くなっている。また、女性の60歳代以降は『夫中心』は他の年代より高いが、男性の60歳代以降よりも低い。60歳代、70歳代の高齢者層では、男女間で認識の差が大きくなっている。

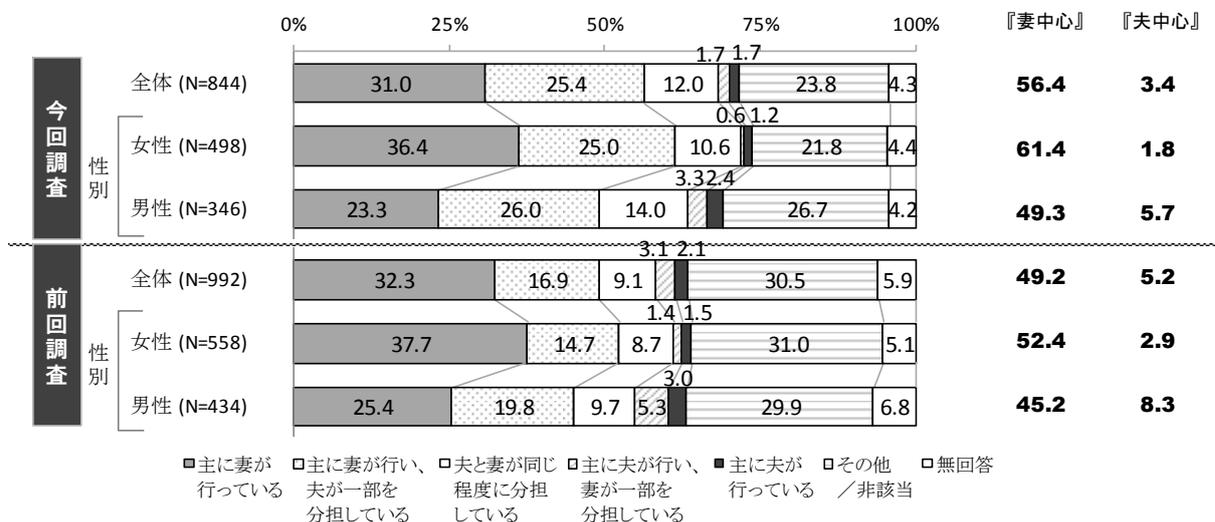
表 「自治会・町内会などの地域活動を行う」の役割分担の状況[全体、年齢別]

		合計	主に妻が行っている	主に妻が行い、夫が一部を担っている	主と妻が同じ程度に分担している	主に夫が行い、妻が一部を担っている	主に夫が行っている	その他／非該当	無回答	『妻中心』	『夫中心』
全体		844	188	142	164	125	102	102	21	330	227
		100.0	22.3	16.8	19.4	14.8	12.1	12.1	2.5	39.1	26.9
年齢別	女性:20歳代	18	-	10.4	18.3	10.6	7.9	50.0	2.7	10.4	18.5
	女性:30歳代	74	22.1	20.1	7.8	9.1	5.8	33.1	1.9	42.2	14.9
	女性:40歳代	100	28.5	20.3	20.3	9.2	3.4	15.5	2.9	48.8	12.6
	女性:50歳代	98	36.8	15.7	24.5	10.7	7.9	3.9	0.5	52.5	18.6
	女性:60歳代	131	32.0	16.6	12.1	18.4	10.3	7.0	3.7	48.6	28.7
	女性:70歳以上	75	20.1	16.2	26.5	12.9	16.7	3.2	4.5	36.3	29.6
	男性:20歳代	2	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	男性:30歳代	38	13.8	12.5	29.9	10.0	3.8	26.3	3.8	26.3	13.8
	男性:40歳代	62	18.0	21.0	25.8	11.0	10.2	11.7	2.3	39.0	21.2
	男性:50歳代	76	17.2	17.8	18.5	19.7	16.6	9.6	0.6	35.0	36.3
	男性:60歳代	107	12.1	15.3	19.4	21.7	21.2	8.1	2.3	27.4	42.9
	男性:70歳以上	59	13.8	11.3	17.9	24.4	26.0	4.1	2.5	25.1	50.4
無回答		4	-	25.0	50.0	-	25.0	-	-	25.0	25.0

(キ) 保育所・幼稚園・学校等の行事や活動に参加する

図 「保育所・幼稚園・学校等の行事や活動に参加する」の役割分担の状況[全体、性別](前回調査比較)

※前回は「PTAや子ども会活動を行う」



保育所・幼稚園・学校等の行事や活動に参加するについては「主に妻が行っている」は31.0%、「主に妻が行い、夫が一部を分担している」は25.4%で、『妻中心』が56.4%と5割を超えているが、「夫と妻が同じ程度に分担している」は12.0%と高くはなく、「育児、子どものしつけをする」と比べると子どもの行事や活動への参加については妻が中心となる場合が多いようである。

性別にみると、『妻中心』は女性が61.4%であるのに対し、男性は49.3%と12.1ポイントの差があり、特に「主に妻が行っている」においては女性が36.4%、男性が23.3%で13.1ポイントの差がみられることから、男女間の認識の差が大きい。

前回調査での項目はPTAや子ども会活動を行うとなっており、厳密な比較はできないが、『妻中心』の割合は女性で9ポイント、男性でも4.1ポイント増えている。

年齢別にみると、男性は20歳、30歳代、女性は20歳代では「その他/非該当」が高くなっており、この年齢層では子どものいない割合が高いためと推測される。

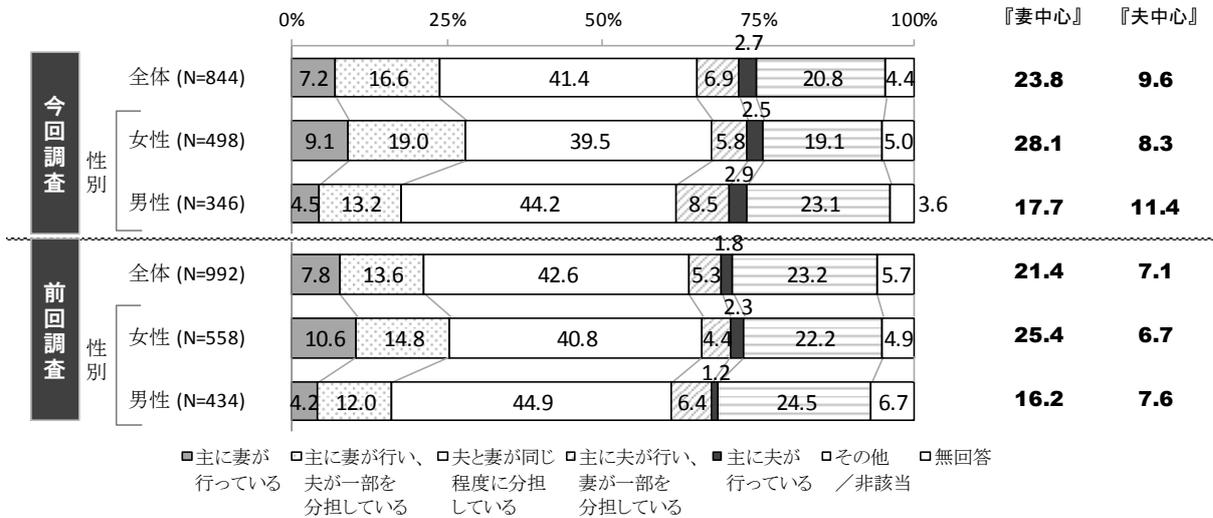
表 「保育所・幼稚園・学校等の行事や活動に参加する」の役割分担の状況[全体、年齢別]

(%)

		合 計	主 に 妻 が 行 っ て	主 に 妻 が 一 部 を 分 担 し て	夫 と 妻 が 同 じ 程 度 に 分 担 し て	主 に 妻 が 一 部 を 分 担 し て	主 に 夫 が 行 っ て	其 他 ／ 非 該 当	無 回 答	『 妻 中 心 』	『 夫 中 心 』
全 体		844 100.0	262 31.0	215 25.4	102 12.0	14 1.7	14 1.7	201 23.8	37 4.3	477 56.4	28 3.4
年 齢 別	女性:20歳代	18	18.4	15.6	2.6	-	-	60.6	2.7	34.0	-
	女性:30歳代	74	29.2	40.2	9.1	-	0.7	18.8	1.9	69.4	0.7
	女性:40歳代	100	41.1	23.7	20.3	1.4	-	10.6	2.9	64.8	1.4
	女性:50歳代	98	44.2	26.4	8.3	0.5	1.9	16.2	2.4	70.6	2.4
	女性:60歳代	131	38.6	19.5	5.9	0.7	1.1	26.8	7.3	58.1	1.8
	女性:70歳以上	75	27.1	22.6	12.9	-	2.6	27.8	7.1	49.7	2.6
	男性:20歳代	2	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	男性:30歳代	38	16.2	20.1	19.9	1.3	3.8	38.8	-	36.3	5.1
	男性:40歳代	62	25.8	39.0	19.6	3.1	0.8	9.3	2.3	64.8	3.9
	男性:50歳代	76	28.7	30.5	15.9	5.1	-	19.7	-	59.2	5.1
	男性:60歳代	107	25.2	19.0	12.1	2.7	3.1	32.0	5.8	44.2	5.8
男性:70歳以上	59	16.2	21.8	6.5	4.1	4.9	35.0	11.4	38.0	9.0	
無回答		4	25.0	50.0	-	-	-	25.0	-	75.0	-

(ク) 子どもの教育方針や進学目標を決める

図 「子どもの教育方針や進学目標を決める」の役割分担の状況[全体、性別](前回調査比較)



子どもの教育方針や進学目標を決めるという重大な決定に関わることについては「夫と妻が同じ程度に分担している」が41.4%と他の項目と比べて最も高くなっている。子どもに関しての重大な決定は、夫婦どちらかに任せるよりも夫婦共同で相談して決めていると推測される。

性別にみると、『妻中心』は女性が28.1%、男性が17.7%と10.4ポイントの差があり、「夫と妻が同じ程度に分担している」は男性で44.2%、女性で39.5%と4.7ポイントの差があり、ここでも男女間での認識の差がみられる。

前回調査と比較すると、男女とも「夫と妻が同じ程度に分担している」について大きな変化はみられないが、前回調査に比べ女性は『妻中心』、男性は『夫中心』の割合がやや増えている。

年齢別にみると、女性の30～50歳代で「夫と妻が同じ程度に分担している」が4割台、男性の30～50歳代でも5割前後と高くなっている。しかし、男性の30歳代では『妻中心』が30.1%と男性の他の年代に比べて高く、子どもの年齢が低いうちは妻中心と男性も認識している傾向がうかがえる。

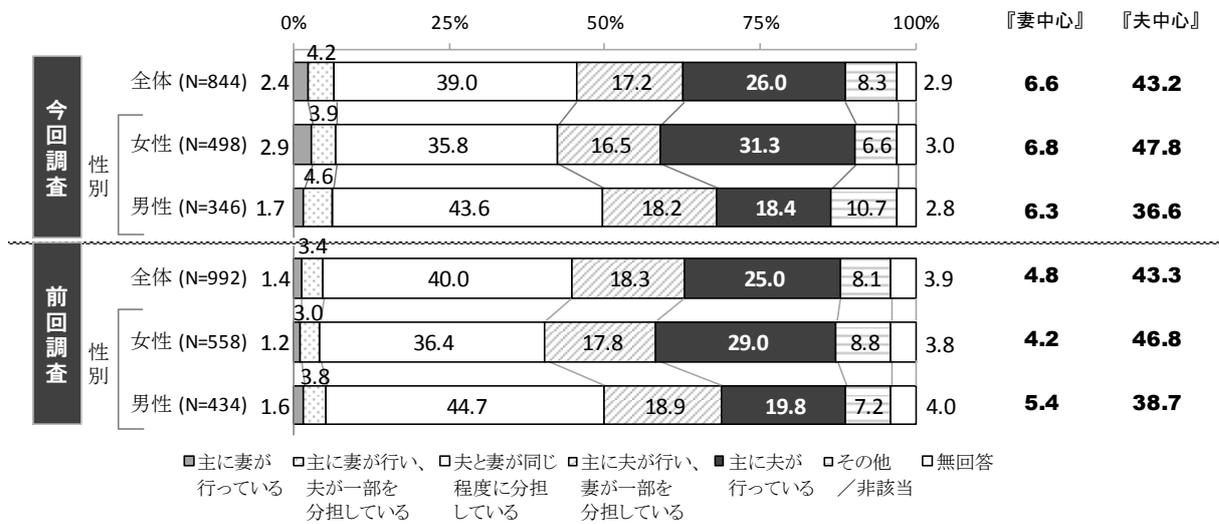
表 「子どもの教育方針や進学目標を決める」の役割分担の状況[全体、年齢別]

(%)

	合計	役割分担							『妻中心』	『夫中心』	
		主に妻が行っている	主に妻が行い、夫が一部を分担している	夫と妻が同じ程度に分担している	主に夫が行い、妻が一部を分担している	主に夫が行っている	その他 / 非該当	無回答			
全体	844	61	140	349	58	23	175	38	201	81	
	100.0	7.2	16.6	41.4	6.9	2.7	20.8	4.4	23.8	9.6	
年齢別	女性:20歳代	18	15.9	13.3	39.2	7.9	-	21.0	2.7	29.2	7.9
	女性:30歳代	74	7.2	24.6	49.4	1.9	-	14.9	1.9	31.8	1.9
	女性:40歳代	100	16.0	21.3	42.5	5.8	-	11.6	2.9	37.3	5.8
	女性:50歳代	98	5.4	22.1	43.1	5.8	5.9	15.2	2.4	27.5	11.7
	女性:60歳代	131	10.6	18.0	28.3	4.8	3.7	25.8	8.8	28.6	8.5
	女性:70歳以上	75	2.6	9.7	40.0	11.0	2.6	25.8	8.4	12.3	13.6
	男性:20歳代	2	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	男性:30歳代	38	12.6	17.5	51.2	1.2	-	17.5	-	30.1	1.2
	男性:40歳代	62	6.3	18.8	49.2	12.5	-	10.9	2.3	25.1	12.5
	男性:50歳代	76	3.8	17.1	53.5	5.7	3.8	16.0	-	20.9	9.5
	男性:60歳代	107	2.3	9.0	38.8	11.7	3.2	30.6	4.5	11.3	14.9
	男性:70歳以上	59	2.4	8.1	31.7	7.3	6.5	33.4	10.6	10.5	13.8
	無回答	4	-	-	75.0	-	-	25.0	-	-	-

(ケ) 高額の商品や土地・家屋の購入を決める

図 「高額の商品や土地・家屋の購入を決める」の役割分担の状況[全体、性別](前回調査比較)



高額の商品や土地・家屋の購入を決めるについては『夫中心』が43.2%と高く、「夫と妻が同じ程度に分担している」が39.0%で、『妻中心』はわずかに6.6%と低い値であった。日々の家計は妻が主に担いながらも、高額な買い物をする際には夫が決定権を持つ場合が多いようである。

性別にみると、『夫中心』は女性で47.8%、男性で36.6%と女性の方が11.2ポイント高く、特に「主に夫が行っている」では、女性が31.3%、男性が18.4%で女性が12.9ポイント高くなっている。女性の方が、高額な買い物をする際の決定権は夫にあるとの認識が強く、また、「夫と妻が同じ程度に分担している」は女性が35.8%で男性の43.6%を7.8ポイント下回り、共同で決定しているという認識は女性において低いことが確認できる。

前回調査と比較すると、男女ともあまり大きな変化はみられない。

年齢別にみると、女性では20歳代で『妻中心』の割合が21.3%と他の年代に比べ最も高く、30歳代と40歳代では「夫と妻が同じ程度に分担している」が4割台で、50歳代以上になると『夫中心』が半数程度と高くなっている。妻の年齢が高くなるほど夫中心と認識する傾向がうかがえる。男性の50歳代、60歳代では「夫と妻が同じ程度に分担している」は5割前後あり、同年代の女性の割合との差が大きく、50~60歳代では夫は妻と共同で決定していると認識、妻は夫が決定していると認識し、男女間の認識のずれがあるといえる。

性別役割分担意識別にみると、男女とも同感する程度が強いと「夫と妻が同じ程度に分担している」の割合が低くなり、『夫中心』の割合が高くなる傾向がみられる。

表 「高額の商品や土地・家屋の購入を決める」の役割分担の状況[全体、年齢別、性別役割分担意識別]

(%)

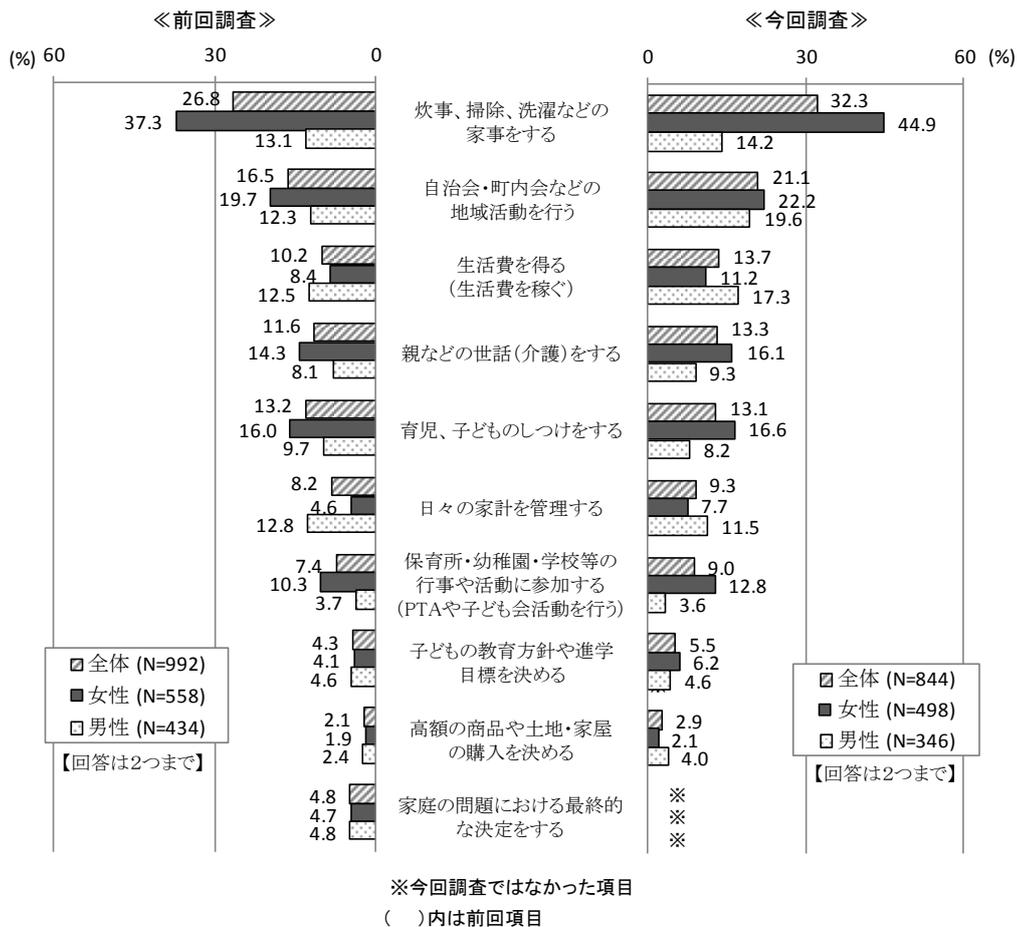
		合計	主に妻が行っている	主として妻が行っている	夫と妻が同じ程度に分担している	主として夫が行っている	主に夫が行っている	その他／非該当	無回答	『妻中心』	『夫中心』	
全体		844 100.0	20 2.4	35 4.2	329 39.0	145 17.2	219 26.0	70 8.3	25 2.9	55 6.6	364 43.2	
年齢別	女性:20歳代	18	13.4	7.9	23.4	23.7	18.4	10.4	2.7	21.3	42.1	
	女性:30歳代	74	0.7	2.6	42.9	20.7	24.6	5.9	2.6	3.3	45.3	
	女性:40歳代	100	4.8	1.9	41.0	15.9	25.6	7.8	2.9	6.7	41.5	
	女性:50歳代	98	1.5	7.4	36.2	20.1	29.0	4.9	1.0	8.9	49.1	
	女性:60歳代	131	3.3	2.6	29.7	11.8	40.1	8.1	4.4	5.9	51.9	
	女性:70歳以上	75	-	4.6	34.8	15.5	36.8	4.5	3.9	4.6	52.3	
	男性:20歳代	2	-	-	-	75.0	-	25.0	-	-	-	75.0
	男性:30歳代	38	3.8	7.5	35.0	11.2	16.2	22.5	3.8	11.3	27.4	
	男性:40歳代	62	3.1	5.5	44.6	17.1	22.7	4.7	2.3	8.6	39.8	
	男性:50歳代	76	-	8.3	50.3	19.7	15.3	6.4	-	8.3	35.0	
男性:60歳代	107	-	2.7	48.2	18.5	19.8	9.0	1.8	2.7	38.3		
男性:70歳以上	59	4.1	0.8	30.9	20.3	17.9	17.9	8.1	4.9	38.2		
無回答		4	25.0	-	75.0	-	-	-	-	25.0	-	
性別役割分担意識別	女性:同感する	16	6.1	-	32.1	20.6	23.6	8.8	8.8	6.1	44.2	
	女性:ある程度同感する	190	2.0	2.8	32.7	18.1	34.5	7.9	2.0	4.8	52.6	
	女性:あまり同感しない	161	1.8	5.7	35.5	20.6	26.3	6.6	3.6	7.5	46.9	
	女性:同感しない	108	6.3	4.0	45.8	9.7	28.5	2.2	3.6	10.3	38.2	
	男性:同感する	24	8.0	12.0	28.0	14.1	32.0	6.0	-	20.0	46.1	
	男性:ある程度同感する	143	-	3.0	39.5	24.0	20.6	9.5	3.4	3.0	44.6	
	男性:あまり同感しない	102	0.5	7.1	46.5	18.9	16.1	7.6	3.3	7.6	35.0	
	男性:同感しない	67	5.0	2.1	54.2	8.5	12.9	17.2	-	7.1	21.4	
無回答		32	-	1.5	25.3	4.4	44.9	19.4	4.5	1.5	49.3	

(2) 配偶者にしてほしいこと

【配偶者・パートナーと同居している方に】

問6. また、あなたが、問6の(ア)から(ケ)までの家庭内の仕事について、配偶者・パートナーの方にもっとしてほしいことはどれですか。主なものを2つまで選び、下の枠の中にカタカナを記入してください。

図 配偶者にしてほしいこと[全体、性別](前回調査比較)



先述の9種類の家庭内の仕事について、配偶者にもっとしてほしい仕事として2つまで選んでもらった。

「炊事、掃除、洗濯などの家事をする」が32.3%で最も高く、次いで「自治会・町内会などの地域活動を行う」が21.1%、「生活費を得る」が13.7%、「親などの世話(介護)をする」が13.3%、「育児、子どものしつけをする」が13.1%と続いている。日常的な仕事に関わる項目が高いようである。「高額の商品や土地・家屋の購入を決める」や「子どもの教育方針や進学目標を決める」など、何らかの決定に関わる項目については低くなっている。

性別にみると、女性は夫に対して家事役割やケア役割を求めており、「炊事、掃除、洗濯などの家事をする」で女性の方が30.7ポイント、「保育所・幼稚園・学校等の行事や活動に参加する」で9.2ポイント、「育児、子どものしつけをする」で8.4ポイント、「親などの世話(介護)をする」で6.8ポイント高くなっている。日常的な家庭内の仕事について夫の「共同参画」を妻の立場で求めている。

ることが指摘できる。一方、男性では「生活費を得る」が6.1ポイント高く、夫は経済面での「共同参画」を求めているが、妻が夫へ求める家事参画よりは低い。

前回調査と比較すると、「生活費を得る」（前回調査は「生活費を稼ぐ」）が5位から3位へと順位を上げ、男性で4.8ポイント高くなっている。また女性では「炊事、掃除、洗濯などの家事をする」が7.6ポイント高くなっている。妻の生活費を得る役割への夫の要望は高くなっており、一方で夫の家事役割の妻の要望はさらに高くなっている。厳しい経済状況を背景に性別役割分担の解消を進めざるを得ない現状が推測され、夫の家事参画の重要性はより増していくものと思われる。

年齢別にみると、「炊事、掃除、洗濯などの家事をする」と「育児、子どものしつけをする」は、女性の年齢が低い層で高くなっており、20歳代では「炊事、掃除、洗濯などの家事をする」が63.2%と6割を超えて高く、子どもに手のかかる年代では夫の家事参画がより求められている。女性の年齢が高い層では「自治会・町内会などの地域活動を行う」「親などの世話（介護）をする」が高くなっている。「生活費を得る」は男性の30歳代と40歳代で2割台と他の年代より高い。

表 配偶者にしてほしいこと[全体、年齢別]

(%)

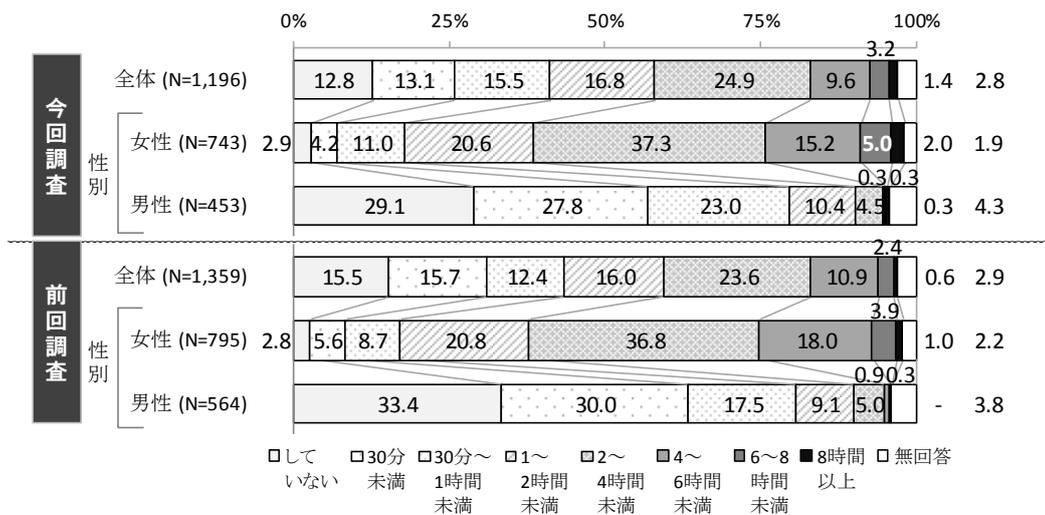
		合計	生活費を得る	炊事、掃除、洗濯などの家事をする	日々の家計を管理する	育児、子どものしつけをする	親などの世話（介護）をする	自治会・町内会などの地域活動を行う	保育所・幼稚園・学校等の行事や活動に参加する	子どもの教育方針や進学目標を決める	高額の商品や土地・家屋の購入を決める	無回答	
全体		844 100.0	116 13.7	273 32.3	78 9.3	111 13.1	112 13.3	178 21.1	76 9.0	47 5.5	25 2.9	271 32.1	
年齢別	女性:20歳代	18	5.2	63.2	10.5	37.0	2.5	2.5	2.6	7.9	-	18.4	
	女性:30歳代	74	16.9	41.5	8.4	35.7	4.6	12.3	22.1	7.8	1.3	13.0	
	女性:40歳代	100	9.7	46.3	7.2	20.3	13.0	26.1	17.9	7.7	1.4	17.5	
	女性:50歳代	98	12.2	45.1	5.9	14.2	20.2	25.1	14.2	6.4	2.0	20.1	
	女性:60歳代	131	11.0	46.7	9.5	6.3	26.1	27.2	8.8	7.0	0.4	24.2	
	女性:70歳以上	75	8.4	38.1	6.4	9.1	10.9	19.4	4.5	0.6	7.7	38.8	
	男性:20歳代	2	-	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	75.0
	男性:30歳代	38	22.5	12.5	20.0	10.1	5.0	15.0	1.3	5.0	16.2	34.9	
	男性:40歳代	62	28.9	13.3	18.7	13.3	1.6	10.9	3.9	7.0	2.3	37.5	
	男性:50歳代	76	16.6	22.9	14.6	10.9	11.5	21.0	5.1	1.9	2.5	36.9	
男性:60歳代	107	11.7	13.0	8.1	5.0	13.9	27.5	3.6	1.8	0.9	51.8		
男性:70歳以上	59	13.8	7.4	1.6	4.1	9.7	17.1	3.3	10.5	5.7	60.2		
無回答		4	-	25.0	-	-	25.0	-	-	-	-	75.0	

2. 一日の生活時間

問7. あなたは、次にあげるような活動を平日に1日平均して何時間くらいしていますか(日曜・休日などは含めない)。(ア) から (カ) のそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ選び番号に○印をつけてください。

(ア) 炊事、掃除、洗濯などの時間

図 炊事、掃除、洗濯などの時間[全体、性別](前回調査比較)



炊事、掃除、洗濯などの時間について、女性では「2～4時間未満」(37.3%)が最も高く、次いで「1～2時間未満」(20.6%)が続いており、「2～4時間未満」から「8時間以上」を合わせた『2時間以上』は59.5%となっている。一方、男性では「していない」(29.1%)が最も高く、これに「30分未満」(27.8%)、「30分～1時間未満」(23.0%)が続いている。男性は「していない」を含めた『1時間未満』が8割を占めている。前節の家庭内の役割分担でもみられたように、家事の中心となる日常的活動の多くを女性が担っていることが時間の使い方からも確認できる。

前回調査と比較すると、男性の「していない」が4.3ポイント減少し、「1～2時間未満」が5.5ポイント増えている。男性で全く家事をしない人は減っており、やや家事参画が進んでいるようである。

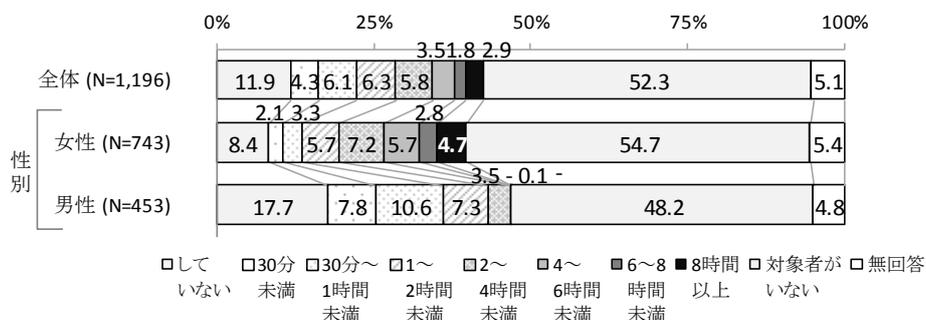
年齢別にみると、女性の20歳代では「していない」(15.9%)と「30分未満」(16.6%)の割合が他の年代に比べて高くなっている。30歳代以上では「2～4時間未満」が3割以上と高くなっている。男性では「していない」が20歳代で43.5%と最も高く、50歳代と60歳代でも3割台となっている。男性の30歳代と70歳以上では「30分～1時間未満」が3割台、40歳代では「30分未満」が50.4%と高くなっている。

表 炊事、掃除、洗濯などの時間[全体、年齢別]

		合計	していない	30分未満	1時間～30分未満	2時間～1時間未満	4時間～2時間未満	6時間～4時間未満	8時間～6時間未満	8時間以上	無回答	
全体		1,196 100.0	153 12.8	157 13.1	186 15.5	200 16.8	297 24.9	115 9.6	39 3.2	16 1.4	33 2.8	
年齢別	女性:20歳代	61	15.9	16.6	21.5	13.6	13.5	12.7	2.4	3.2	0.8	
	女性:30歳代	99	5.4	6.8	9.7	20.5	32.2	15.6	7.3	2.4	-	
	女性:40歳代	140	1.4	2.4	12.7	21.0	36.3	17.6	5.8	1.7	1.0	
	女性:50歳代	133	1.4	2.5	8.0	16.3	49.6	12.4	5.1	1.4	3.3	
	女性:60歳代	184	0.3	1.8	7.6	25.1	41.1	16.2	5.0	1.0	1.8	
	女性:70歳以上	124	1.6	3.5	13.2	21.4	34.4	15.5	3.5	3.5	3.5	
	男性:20歳代	30	43.5	33.9	21.0	1.6	-	-	-	-	-	-
	男性:30歳代	54	24.2	24.0	34.8	10.7	-	0.9	-	-	-	5.4
	男性:40歳代	77	28.6	50.4	8.7	7.4	4.4	-	-	-	-	0.6
	男性:50歳代	93	33.0	26.4	16.0	15.0	4.6	-	-	1.5	-	3.6
	男性:60歳代	125	30.8	17.3	25.0	12.3	7.3	0.8	-	-	-	6.5
男性:70歳以上	71	19.0	24.4	35.4	8.2	4.8	-	2.0	-	-	6.2	
無回答		5	20.0	-	20.0	20.0	40.0	-	-	-	-	

(イ) 育児などの時間

図 育児などの時間[全体、性別]



育児などの時間について「対象者がいない」が52.3%と半数を占めているために、実際に育児をしている時間の割合がわかりにくくなっているが、そうした中でも、男性の「していない」は17.7%と女性の8.4%に比べて多くなっていることがわかる。

年齢別にみても、「していない」は男女とも年齢が高い層で高く、「30分未満」は男性の40歳代(21.7%)、「30分～1時間未満」は男性の30歳代(20.5%)で高いが、男性の30歳代では「1～2時間未満」(15.1%)や「2～4時間未満」(10.7%)といった時間でも男性の他の年代に比べて高くなっている。女性の20歳代や30歳代では「8時間以上」が1割台と高い。手のかかる年齢の子どものいる夫婦では、夫の育児参画は家庭内の役割分担でみられたように、時間面でも他の年代より長くなっていることがわかる。

表 育児などの時間[全体、年齢別]

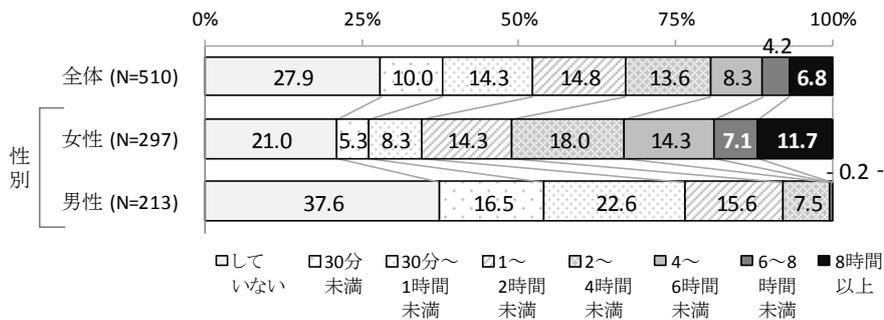
(%)

	合計	していない	30分未満	30分～1時間未満	1～2時間未満	2～4時間未満	4～6時間未満	6～8時間未満	8時間以上	対象者がいない	無回答	
全体	1,196 100.0	142 11.9	51 4.3	73 6.1	75 6.3	69 5.8	42 3.5	22 1.8	35 2.9	625 52.3	61 5.1	
年齢別	女性:20歳代	61	-	-	-	2.4	3.9	6.4	3.9	12.7	70.6	-
	女性:30歳代	99	-	1.0	3.9	5.3	17.6	15.1	8.3	16.1	32.2	0.5
	女性:40歳代	140	4.8	1.0	8.3	15.1	17.6	7.9	4.1	4.5	34.2	2.4
	女性:50歳代	133	11.2	5.8	5.1	5.1	0.4	2.5	2.2	1.5	63.1	3.2
	女性:60歳代	184	10.2	2.6	0.5	2.6	3.9	4.2	1.0	0.8	67.0	7.0
	女性:70歳以上	124	17.4	0.8	1.2	2.3	1.2	1.2	-	1.2	59.7	15.1
	男性:20歳代	30	6.5	1.6	-	-	-	-	-	-	87.0	4.8
	男性:30歳代	54	1.8	9.9	20.5	15.1	10.7	-	-	-	39.3	2.7
	男性:40歳代	77	12.5	21.7	19.3	9.9	3.7	-	0.6	-	31.7	0.6
	男性:50歳代	93	19.6	6.7	10.8	7.2	3.1	-	-	-	52.6	-
	男性:60歳代	125	23.1	4.6	4.6	6.1	3.5	-	-	-	49.6	8.4
	男性:70歳以上	71	28.5	0.7	6.1	4.1	-	-	-	-	49.8	10.9
	無回答	5	-	-	40.0	-	-	-	-	-	60.0	-

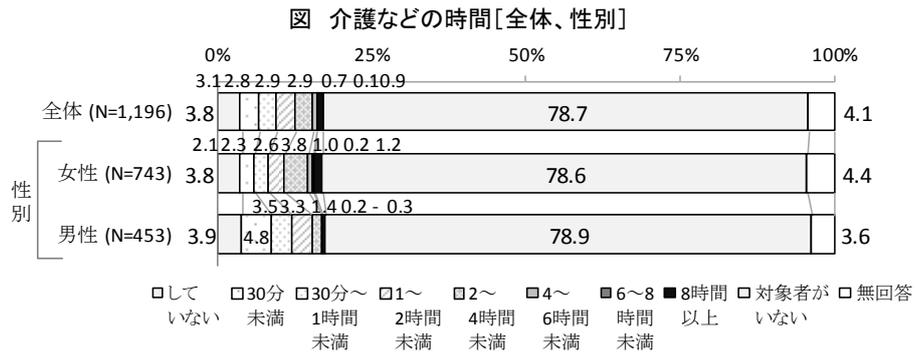
実際の育児時間について、「対象者がいない」と回答した人(625人)と無回答(61人)を除いてみる。女性では「2～4時間未満」が18.0%で最も高く、次いで「4～6時間未満」と「1～2時間未満」が同率の14.3%で続いている。「8時間以上」も11.7%いる。一方、男性は「していない」が37.6%で最も高くなっているが、している人の中では「30分～1時間未満」が22.6%で、『1時間未満』が39.1%となっている。男女で育児時間には大きな差があり、育児は女性が中心となって担っていることがわかる。

《育児の対象がいる人》

図 育児などの時間[全体、性別]



(ウ) 介護などの時間



介護などの時間については、「対象者がいない」が78.7%と約8割を占めているため、実際に介護をしている人の時間の分布がわかりにくくなっている。「していない」は3.8%と少なく、「30分未満から「8時間以上」まで数パーセントで分かれている。

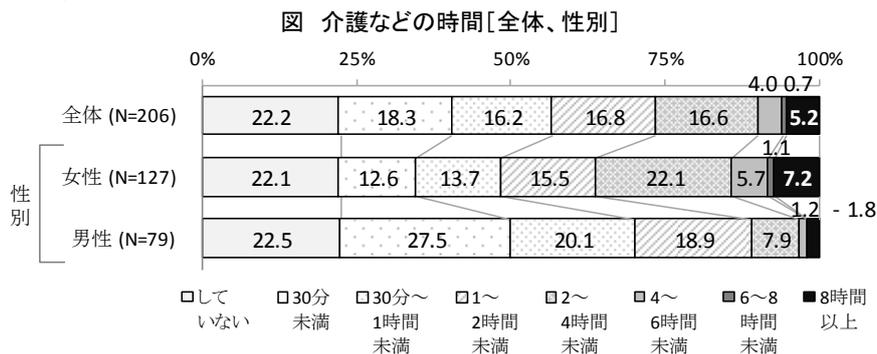
年齢別にみると、「2～4時間未満」の時間帯は、女性の50歳代以上で5%前後と一定の割合がみられる。60歳代以上では「8時間以上」に2%程度と、少ないながら回答があった。

表 介護などの時間[全体、年齢別]

		合計	していない	30分未満	1～2時間未満	2～4時間未満	4～6時間未満	6～8時間未満	8時間以上	対象者がいない	無回答	
全体		1,196	46	38	33	35	34	8	1	11	49	
		100.0	3.8	3.1	2.8	2.9	2.9	0.7	0.1	0.9	4.1	
年齢別	女性:20歳代	61	3.2	0.8	1.6	-	-	-	-	-	94.5	
	女性:30歳代	99	3.9	1.0	0.5	-	1.0	0.5	-	-	93.2	
	女性:40歳代	140	3.5	0.7	4.1	1.0	2.8	1.0	-	-	85.9	
	女性:50歳代	133	4.0	4.4	4.0	4.7	4.7	1.4	-	1.1	72.1	
	女性:60歳代	184	4.5	3.9	1.3	6.3	5.7	0.8	0.8	2.4	68.9	
	女性:70歳以上	124	3.1	0.4	2.0	0.4	4.3	1.6	-	2.7	72.5	
	男性:20歳代	30	11.2	-	-	-	-	-	-	-	-	88.8
	男性:30歳代	54	-	3.5	-	-	-	-	-	-	-	90.2
	男性:40歳代	77	6.2	1.2	1.9	-	-	-	-	-	-	90.1
	男性:50歳代	93	2.5	9.8	1.0	4.6	1.5	0.5	-	-	-	80.0
男性:60歳代	125	5.4	4.2	5.4	6.9	2.3	0.4	-	1.2	67.3	6.9	
男性:70歳以上	71	0.7	3.4	9.5	2.7	2.7	-	-	-	75.5	5.4	
無回答	5	-	40.0	-	-	-	20.0	-	-	-	40.0	

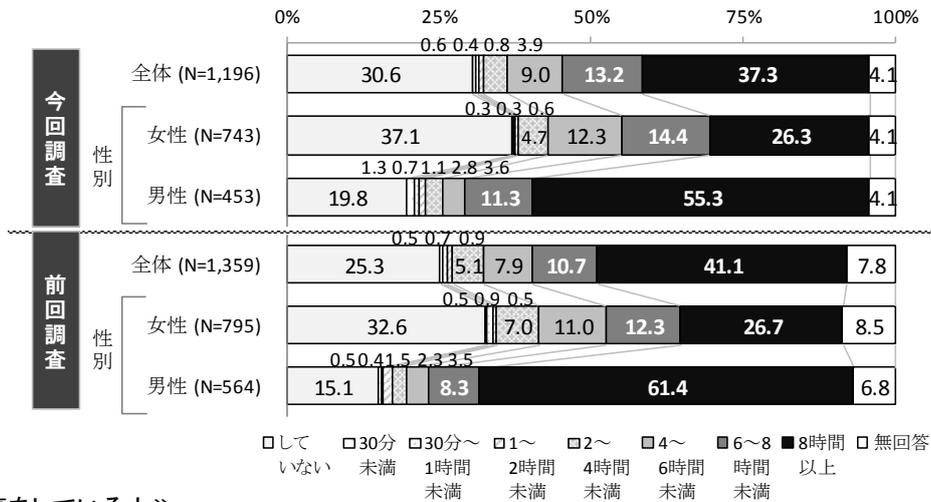
実際の介護時間について、「対象者がいない」(941人)と無回答(49人)を除いて回答した人についてみる。男女ともに「していない」が2割を超えているが、している人の時間をみると、女性では「2～4時間未満」が22.1%で最も高く、『2時間以上』で36.1%となっている。一方、男性では「30分未満」27.5%、「1～2時間未満」20.1%が高く、『1時間未満』で47.6%となっている。男女で介護をしている人の時間の差がみられる。

《介護の対象がいる人》



(エ) 収入を得る仕事の時間(通勤時間を含む)

図 収入を得る仕事の時間(通勤時間を含む)[全体、性別](前回調査比較)



《仕事をしている人》

	合計	していない	30分未満	1時間0分未満	1時間0分~2時間未満	2時間~4時間未満	4時間~6時間未満	6時間~8時間未満	8時間以上	無回答
全体	767	5	5	3	9	41	97	148	436	21
	100.0	0.7	0.7	0.4	1.2	5.4	12.7	19.3	56.9	2.7
性別										
女性	427	1.2	0.4	0.1	1.1	7.4	19.4	23.7	44.4	2.1
男性	340	-	1.0	0.9	1.3	2.8	4.3	13.9	72.5	3.4

通勤時間を含む収入を得る仕事の時間は、女性では「していない」が37.1%、男性が19.8%となっているため、実際に仕事をしている人でみると、男性では「8時間以上」が72.5%、女性では44.4%と男性の方が28.1ポイント高い。男性の回答が「8時間以上」に集中しているのはフルタイムの正規雇用という働き方の人が多いためであろう。女性では「6~8時間未満」(23.7%)や「4~6時間未満」(19.4%)の時間帯の割合も高く、正規雇用だけでなく短時間のパート・アルバイトなど非正規雇用の多様な働き方をしていることが推測される。

前回調査と比較すると、男性で「していない」がやや増えており、また「8時間以上」が6.1ポイント減少し、フルタイムの正規雇用としての働き方をする男性が減少していることがうかがえる。

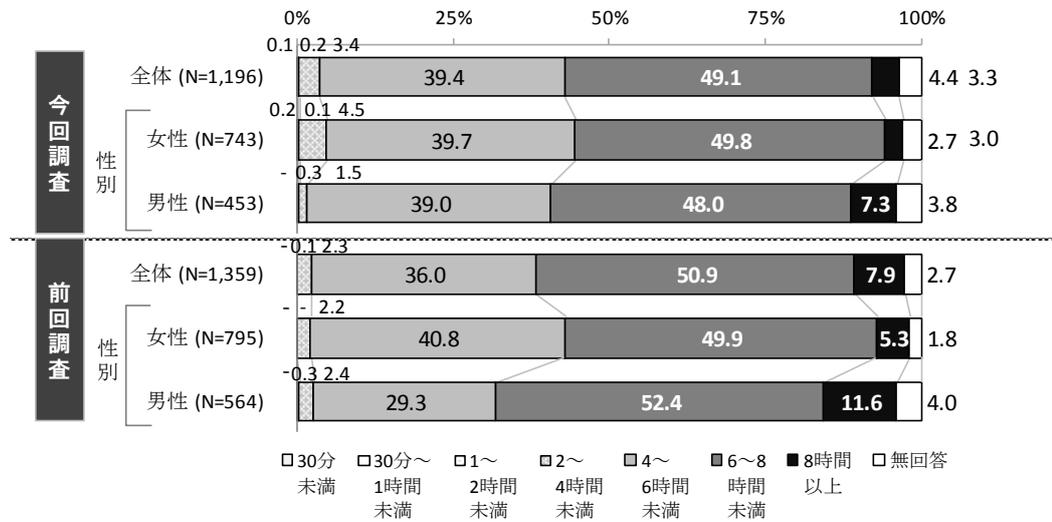
性別役割分担意識別にみると、女性では「していない」の割合が同感する場合に64.0%、同感しない場合には32.6%というように、性別役割分担意識により強く同感する女性では就業していない傾向がみられる。

表 収入を得る仕事の時間(通勤時間を含む)[全体、性別役割分担意識別]

	合計	していない	30分未満	1時間0分未満	1時間0分~2時間未満	2時間~4時間未満	4時間~6時間未満	6時間~8時間未満	8時間以上	無回答
全体	1,196	366	8	5	10	47	108	158	446	50
	100.0	30.6	0.6	0.4	0.8	3.9	9.0	13.2	37.3	4.1
性別										
女性:同感する	24	64.0	-	2.0	-	8.0	-	2.1	20.0	3.9
女性:ある程度同感する	286	40.2	0.7	0.5	0.2	4.4	10.6	14.8	22.3	6.4
女性:あまり同感しない	237	31.8	-	-	0.6	4.7	13.4	17.1	29.4	3.0
女性:同感しない	164	32.6	-	-	1.8	4.7	15.3	13.2	30.5	2.1
男性:同感する	28	12.1	5.2	-	-	5.2	-	17.3	58.7	1.7
男性:ある程度同感する	171	27.1	0.6	1.1	0.6	2.2	2.8	7.6	54.2	3.7
男性:あまり同感しない	141	11.9	1.4	-	1.7	0.7	4.1	12.6	62.1	5.5
男性:同感しない	96	18.6	1.5	1.5	1.5	6.5	6.0	14.6	45.2	4.5
無回答	49	44.6	-	-	-	3.0	8.0	6.9	35.6	2.0

(オ) 睡眠時間

図 睡眠時間[全体、性別](前回調査比較)



睡眠時間について、男女とも「6～8時間未満」が約5割、「4～6時間未満」が約4割となっているが、「8時間以上」は男性の方がやや多い。

前回調査と比較すると、女性ではあまり変化はみられないが、男性では「4～6時間未満」が9.7ポイント増え、「6～8時間未満」が4.4ポイント、「8時間以上」が4.3ポイント減っており、男性の睡眠時間がやや短くなっている。

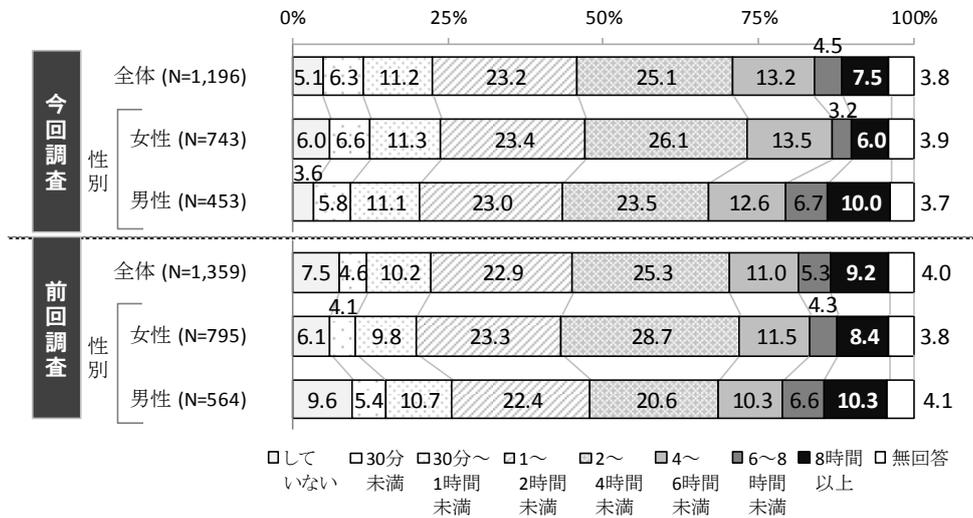
年齢別にみると、女性の50歳代では「4～6時間未満」が52.8%と最も高いのに対し、その他の年代では「6～8時間未満」の割合が最も高くなっている。また、男性では20歳代と30歳代で「4～6時間未満」が約5割と高く、女性の50歳代と男性の20歳代、30歳代において十分な睡眠時間を確保できていない人が多いと思われる。

表 睡眠時間[全体、年齢別]

		合計	30分未満	30分~1時間未満	1~2時間未満	2~4時間未満	4~6時間未満	6~8時間未満	8時間以上	無回答
全体		1,196	-	1	2	40	472	587	53	40
		100.0	-	0.1	0.2	3.4	39.4	49.1	4.4	3.3
年齢別	女性:20歳代	61	-	-	-	3.9	39.6	50.1	6.4	-
	女性:30歳代	99	-	-	0.5	3.9	39.9	51.7	2.4	1.0
	女性:40歳代	140	-	-	-	6.9	43.8	45.1	2.1	2.1
	女性:50歳代	133	-	1.1	-	5.0	52.8	36.7	2.2	2.2
	女性:60歳代	184	-	-	-	2.6	38.9	53.2	1.6	3.6
	女性:70歳以上	124	-	-	-	5.0	22.1	61.7	3.9	7.4
	男性:20歳代	30	-	-	-	-	50.0	40.3	9.7	-
	男性:30歳代	54	-	-	-	-	50.8	37.6	8.9	2.7
	男性:40歳代	77	-	-	-	0.6	46.6	51.0	1.2	0.6
	男性:50歳代	93	-	-	-	3.6	46.9	43.3	4.1	2.1
	男性:60歳代	125	-	-	1.2	1.2	32.7	48.1	12.3	4.6
	男性:70歳以上	71	-	-	-	2.0	19.1	60.5	7.5	10.9
無回答		5	-	-	-	-	20.0	80.0	-	-

(カ) 自分が自由に使える時間（余暇・ボランティアなど）

図 自分が自由に使える時間(余暇・ボランティアなど)[全体、性別](前回調査比較)



余暇やボランティアなど自分が自由に使える時間については、男女とも「1～2時間未満」と「2～4時間未満」の時間帯が多い。女性では「4～6時間未満」も1割程度あるが、男性では「8時間以上」も1割と自由時間の長短については個人差が大きいようである。

前回調査と比較すると、男女ともあまり大きな変化はみられない。

年齢別にみると、男女とも30歳代と40歳代では『2時間未満』という短めの時間帯が、20歳代や50歳代以上に比べて多くなっている。

表 自分が自由に使える時間(余暇・ボランティアなど)[全体、年齢別]

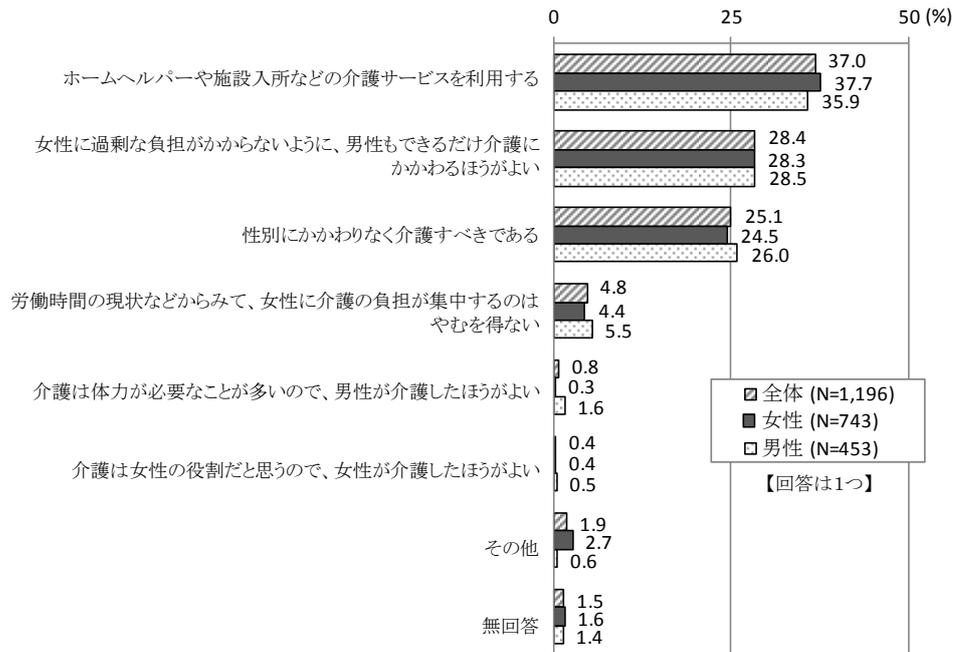
		合計	0分	30分	1時間	2時間	4時間	6時間	8時間	10時間以上	無回答
全体		1,196	61	76	134	278	301	158	54	90	46
		100.0	5.1	6.3	11.2	23.2	25.1	13.2	4.5	7.5	3.8
年齢別	女性:20歳代	61	0.8	4.0	11.1	24.6	20.7	19.0	10.4	9.5	-
	女性:30歳代	99	6.8	12.2	14.6	30.7	24.9	5.9	0.5	2.9	1.5
	女性:40歳代	140	4.1	14.8	16.2	29.3	22.7	6.5	2.1	1.7	2.4
	女性:50歳代	133	6.5	4.0	14.5	25.7	27.2	13.4	4.4	1.5	2.9
	女性:60歳代	184	5.8	3.7	9.7	16.8	31.4	18.8	2.4	7.3	4.2
	女性:70歳以上	124	9.7	1.5	2.3	17.4	24.4	17.5	3.1	13.9	10.1
	男性:20歳代	30	4.8	9.7	-	22.6	24.2	17.8	9.7	11.2	-
	男性:30歳代	54	0.9	9.8	23.2	26.0	23.3	5.3	3.6	2.6	5.4
	男性:40歳代	77	3.1	15.5	16.1	32.3	15.6	1.3	8.7	6.8	0.6
	男性:50歳代	93	6.7	3.6	14.5	24.7	26.8	16.0	2.1	4.1	1.5
	男性:60歳代	125	3.5	1.9	6.9	21.5	23.5	16.5	8.4	12.7	5.0
男性:70歳以上	71	2.0	0.7	4.1	8.8	28.6	17.1	8.8	21.7	8.2	
無回答		5	-	-	-	60.0	20.0	-	-	20.0	-

3. 介護について

(1) 介護の担い手についての考え方

問8. あなたやご家族が介護を必要とするようになった場合の担い手について、あなたはどのように考えますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

図 介護の担い手についての考え方[全体、性別]



自分や家族に介護が必要となった場合の担い手として、「ホームヘルパーや施設入所など介護サービスを利用する」が37.0%と最も高く、次いで「女性の過剰な負担がかからないように、男性もできるだけ介護にかかわるほうがよい」が28.4%、「性別にかかわらず介護すべきである」が25.1%となっており、介護を女性の役割と考える人は少ない。

性別にみても男女差はあまりみられない。

年齢別にみると、女性では20歳代で「性別にかかわらず介護すべきである」が38.1%と最も高く、その他の年代では「ホームヘルパーや施設入所など介護サービスを利用する」が3割台から4割台と高くなっている。男性では50歳代で「ホームヘルパーや施設入所など介護サービスを利用する」が45.9%と最も高いが、「女性の過剰な負担がかからないように、男性もできるだけ介護にかかわるほうがよい」は16.5%と最も低く、「労働時間の現状などからみて、女性に介護の負担が集中するのはやむを得ない」が10.3%と他の年代に比べて相対的に高いのが目立っている。この年代の男性は職場で責任のある立場の人が多いため、男性が介護することに消極的なのではないだろうか。

性別役割分担意識別にみると、男女とも同感する人では「労働時間の現状などからみて、女性に介護の負担が集中するのはやむを得ない」で高く、「ホームヘルパーや施設入所などの介護サービスを利用する」で低くなっている。「ホームヘルパーや施設入所などの介護サービスを利用する」は、男性の同感しない人で47.8%と特に高い。男性の50歳代は職場で責任ある世代でもあり、施設の利用か妻への負担をやむを得ないとしており、男性もかかわることに消極的な傾向がみえてとれる。

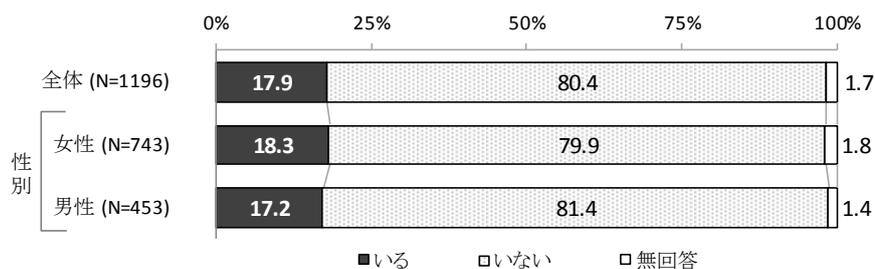
表 介護の担い手についての考え方[全体、年齢別、性別役割分担意識別]

		合計	性別にかかわらず介護すべき	介護は男性が必要としたほうがよい	女性に過剰な負担がかかるから介護は男性に任せよう	労働時間の現状などからみて、女性に介護の負担が集中するのはやむを得ない	介護は女性が役割したほうがよい	ホームヘルパーや施設入所など	その他	無回答
全体		1,196 100.0	300 25.1	10 0.8	339 28.4	58 4.8	5 0.4	443 37.0	23 1.9	18 1.5
年齢別	女性:20歳代	61	38.1	0.8	26.1	2.4	-	24.6	7.9	-
	女性:30歳代	99	27.3	-	25.8	7.8	-	36.1	2.9	-
	女性:40歳代	140	25.9	-	25.2	4.8	-	42.1	1.0	1.0
	女性:50歳代	133	22.8	0.3	29.7	4.7	1.1	33.3	5.1	2.9
	女性:60歳代	184	17.3	0.8	32.7	3.1	-	41.9	2.4	1.8
	女性:70歳以上	124	26.3	-	26.8	3.9	1.2	39.1	-	2.7
	男性:20歳代	30	32.2	4.8	20.9	8.1	-	33.9	-	-
	男性:30歳代	54	26.8	-	36.5	2.7	0.9	30.4	-	2.7
	男性:40歳代	77	23.0	1.9	32.3	6.2	-	34.2	1.9	0.6
	男性:50歳代	93	26.3	1.0	16.5	10.3	-	45.9	-	-
男性:60歳代	125	23.5	2.7	33.4	5.0	0.4	32.7	1.2	1.2	
男性:70歳以上	71	30.6	-	29.2	0.7	2.0	33.4	-	4.1	
無回答	5	20.0	-	20.0	-	-	60.0	-	-	
性別役割分担意識別	女性:同感する	24	26.0	-	31.9	14.0	-	26.1	2.0	-
	女性:ある程度同感する	286	19.7	-	30.7	6.6	1.0	37.7	2.5	1.8
	女性:あまり同感しない	237	27.8	0.2	27.3	3.7	-	38.3	1.0	1.6
	女性:同感しない	164	31.1	1.2	24.4	0.3	-	36.1	5.3	1.8
	男性:同感する	28	29.4	-	20.7	15.5	-	27.6	-	6.8
	男性:ある程度同感する	171	25.4	2.5	30.5	5.6	1.1	34.8	-	-
	男性:あまり同感しない	141	29.0	2.1	27.6	7.5	-	30.7	1.0	2.0
男性:同感しない	96	19.1	-	29.6	0.5	-	47.8	1.5	1.5	
無回答	49	18.8	-	28.8	3.0	1.0	45.5	3.0	-	

(2) 家族・身内の介護

問9. あなたの家族・身内に、日常的に介護を必要とする方がいますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

図 家族・身内で介護を必要とする人の有無[全体、性別]



実際に家族や身内に日常的に介護を必要とする人がいるかどうかたずねた。

「いる」が17.9%、「いない」が80.4%となっており、女性では「いる」が18.3%、男性では17.2%となっている。

年齢別みると、「いる」は女性の50歳代で26.1%、60歳代で22.8%、男性の60歳代で26.1%と高く、これらの年代では親や配偶者で介護を必要としているのであろう。また、男性の20歳代でも20.9%と2割を超えているが、これは祖父母と思われる。

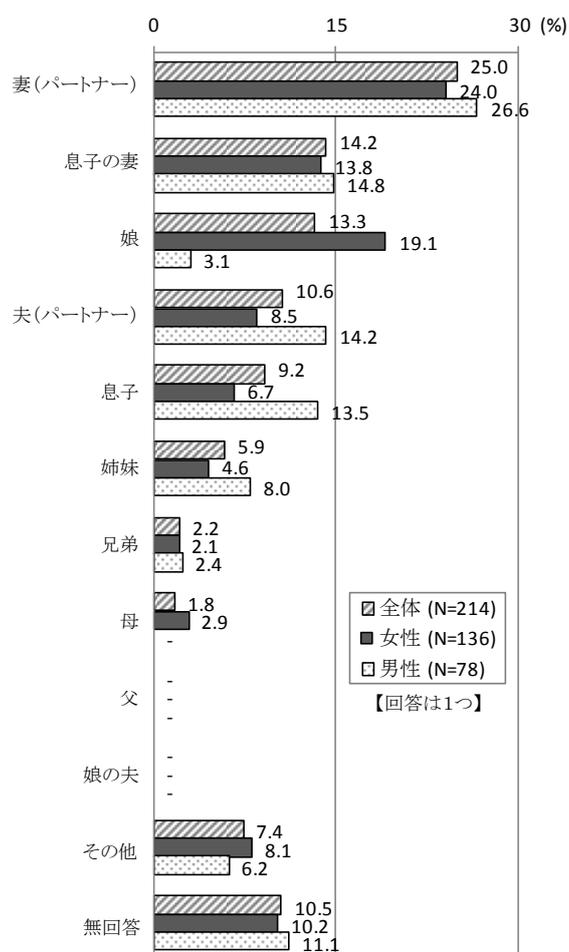
表 家族・身内で介護を必要とする人の有無[全体、年齢別]

		(%)			
		合計	いる	いない	無回答
全体		1,196	214	962	20
		100.0	17.9	80.4	1.7
年齢別	女性:20歳代	61	11.0	89.0	-
	女性:30歳代	99	13.6	86.4	-
	女性:40歳代	140	13.4	84.5	2.1
	女性:50歳代	133	26.1	71.4	2.5
	女性:60歳代	184	22.8	75.9	1.3
	女性:70歳以上	124	15.9	80.2	3.9
	男性:20歳代	30	20.9	79.1	-
	男性:30歳代	54	10.8	89.2	-
	男性:40歳代	77	10.6	89.4	-
	男性:50歳代	93	15.5	84.5	-
	男性:60歳代	125	26.1	71.6	2.3
	男性:70歳以上	71	15.0	80.3	4.8
	無回答	5	20.0	80.0	-

付問1. 【問9で1.「いる」と答えた方に】

その方の世話は主にどなたがしていますか。あてはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。 ※介護が必要な方からみた続柄でお答えください。

図 介護をしている人[全体、性別]



家族や身内に日常的に介護を必要とする人が「いる」と答えた人にその人の介護は主に誰か担っているのかたずねた。介護が必要な人からみた続柄で「妻(パートナー)」が25.0%と最も高く、次いで「息子の妻」が14.2%、「娘」が13.3%、「夫(パートナー)」が10.6%、「息子」が9.2%となっている。上位を女性が占める結果となっており、女性が介護を担っている様子がわかるが、「夫(パートナー)」と息子もそれぞれ1割程度あることから、男性介護も決して少なくはない。